

## 2017年7月発表 半導体・FPD 製造装置需要予測の見直し 『2017年度の半導体製造装置販売高を25.0%増の1兆9,553億円に上方修正』

半導体調査統計専門委員会及びFPD調査統計専門委員会は、2017年7月に発表した需要予測の見直しを行ないました。

### 『日本製半導体製造装置』について；

半導体製造装置を取り巻く環境は好調が続いている。WSTSによると、2017年4-6月度の世界半導体販売高はメモリーを中心に大きく伸張し、史上最高値を更新した。8月に発表された改訂予測によると、2017年の販売高は春季予測から5.5ポイント上方修正の17.0%増と予測されている。半導体製造装置も3D-NANDあるいはDRAM向けに積極的な投資が行われ、2017年4-6月度の世界市場販売高は7月発表時点の予測を大きく上回り、2四半期連続で過去最高値を更新する結果となった。4月から8月までの日本製半導体製造装置販売高実績でも、前年比43.6%増の7,449億円となっている。メモリーを中心に投資増額が計画され、今後もこのペースが継続すると見込まれるため、2017年度の販売高を前年比25.0%増の1兆9,553億円に修正する。これは過去最高である2007年度の1兆8,510億円を更新する。2018年度以降については、次回2018年1月の発表に合わせて見直す。なお日本市場についても、4月から8月までの販売高実績で前年比57.9%増の3,020億円となり大幅な上方修正となることが確実であるが、同様に2018年1月の発表に合わせて見直すこととした。

### 『日本製 FPD 製造装置』について；

FPD製造装置市場は、2017年度は中国市場と韓国市場が中心であり、OLED向けのG6とTV向けのG8投資が活況になると見込み、7月の発表では前年比9.1%増の5,300億円と予測した。現在まで、状況は見込みとおりになっているが、4月から8月までの日本製FPD製造装置販売高実績においては、前年比10.1%減、1,884億円である。依然、受注から販売への期間の長期化が継続しているが、昨年度末までの受注残を考慮し2017年度の販売高は7月の発表に変更はない。

2018年度についても、中国における大型パネル向けG10.5の投資の発表などがあり、7月の見込みとおりになっており予測に修正はない。

### <2017年7月発表 需要予測値と中間見直し結果>

		2017年7月発表需要予測			中間見直し結果
		2017年度予測	2018年度予測	2019年度予測	2017年度予測
半導体製造装置	販売高(億円)	17,363	18,231	18,778	19,553
	対前年比(%)	+11.0	+5.0	+3.0	+25.0
FPD製造装置	販売高(億円)	5,300	5,400	4,500	5,300
	対前年比(%)	+9.1	+1.9	-16.7	+9.1
合 計	販売高(億円)	22,663	23,631	23,278	24,853
	対前年比(%)	+10.6	+4.3	-1.5	+21.2

以上

(本件に関するお問い合わせ)

事務局：広報部長 平柳 緑、TEL：03-3261-8261、FAX：03-3261-8263、Mail Address：hirayanagi@seaj.or.jp